

平成28年

12月号

- 小中学生ふくしポスター（最優秀）…P1
- 大泉町社会福祉大会等……………P2
- ふくし作文・ポスターコンクール…P3
- 小中学生ふくし作文（最優秀）……………P4～P5
- お知らせ……………P6

# 社協だより ぼらんていあ



編集・発行／社会福祉法人大泉町社会福祉協議会・ボランティアセンター

## 大泉町 第11回(平成28年度)小中学生 ふくし作文・ポスターコンクール

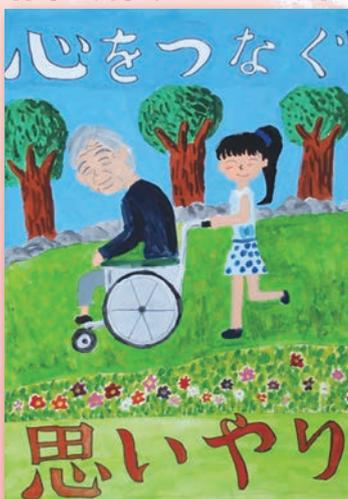
《小学生低学年 ポスターの部》



**最優秀**  
「やさしいところで  
見まもっているよ」

大泉町立東小学校  
やまぐち さくらこ  
2年 山口 桜子 さん

《小学生高学年 ポスターの部》



**最優秀**  
「心をつなぐ思いやり」

大泉町立東小学校  
しろた さやか  
6年 代田 清香 さん

《中学生 ポスターの部》



**最優秀**  
「笑顔をつくる思いやり」

大泉町立西中学校  
すげた まゆ  
1年 菅田 真由 さん



平成28年度

大泉町

# 社会福祉大会



去る11月19日(土)文化むら小ホールにおいて、社会福祉大会を開催し、日頃社会福祉事業に多大な貢献をいただいている方々に表彰状・感謝状の贈呈を行いました。

なお当日は、平成28年度群馬県知事等の福祉関係表彰等の伝達も併せて行いました。受賞された方々は、次のとおりです。

## 表彰状受賞者

31名

(敬称略・順不同)

### \*社会福祉協議会役員等功労者

菅田斌之・西牧明美

### \*町内の民間社会福祉施設及び

### 団体の役職等功労者

戸塚多美子・峯 さとみ・山崎和晃・久保田正子

### \*民生委員、児童委員功労者

池澤房代・伊東節子・植松育代・植松かね子・木村艶子・木村登美子・久保田保子・後藤貞子・小林ゆき江・齊藤末廣・杉本春美・反町美津江・平 艶子・高橋克明・田沼薫・中村文彦・堀越まり子・堀本昌子・松島礼子・森 敏則・湯澤美津子

### \*寝たきり老人等介護者

川島房江

### \*福祉活動功労者

金井良子

### \*社会福祉事業功労者

味の素冷凍食品株式会社関東工場・木下貞雄

## 感謝状受賞者

37名

### \*一般協助者

大塚明美・小貫伊佐緒・河内冨み子・川島銀一・君島高雄・小林啓一・酒巻義雄・坂本利夫・坂本藤夫・関口義之・原島 昇・堀越ちせ子・眞下清子・宮永博史・横倉浩幸

### \*協力団体

大泉社交ダンス愛好会・大泉町公民館スプリングフェスティバル・大泉町陶芸協議会・太田記念病院職員一同・国際オータリー第2840地区第4分区AB10クラブ・東毛歌謡愛好会

### \*社会福祉協議会理事、監事、

### 評議員及び地区社会福祉協議会長

(退任者)

天笠広史・川島サト・久保田吉春・高野和夫・小沼唯一・澤田 進・鈴木智秀・関田訓一・多胡保治・槻岡則夫・新立敬男・生見武夫・森 二男・矢嶋利昭・安野利夫・山本喜美代

平成28年度

群馬県

# 社会福祉大会



(敬称略・順不同)

## 群馬県知事表彰状受賞者名簿

### \*民生委員功労者表彰

坂本勝三

### \*社会福祉事業施設長等表彰

近藤文雄・市東明美・菅野美雪・春原幹男・臼田敦子

## 群馬県社会福祉協議会長

## 表彰状受賞者名簿

### \*民生委員、児童委員功労者

菅田斌之

### \*社会福祉施設・団体役職員功労者

太田糸香子・宮澤正子・岡田悦代・高橋竜一・伏島 学・松澤千恵子・荒井ゆかり・中尾公明

受賞おめでとうございます



# 小中学生ふくし作文・ポスターコンクール

## ふくし作文入賞者

### 小学生低学年の部

- ・最優秀 萩本 由愛 北小2年
- ・優秀 柳澤 太一 西小3年
- ・優良 柴木 連 北小1年
- ・優良 對比地悠斗 西小2年

### 小学生高学年の部

- ・最優秀 高木 璃音 西小5年
- ・優秀 齊藤 芽生 南小4年
- ・優良 石井 康暉 西小4年
- ・優良 福田 瞳真 北小4年

### 中学生の部

- ・最優秀 近藤 希 北中2年
- ・優秀 神澤 唯花 西中1年
- ・優良 小久保美咲 北中3年
- ・優良 高橋 桂 南中3年

## ふくしポスター入賞者

### 小学生低学年の部

- ・最優秀 山口 桜子 東小2年
- ・優秀 菅田 結菜 西小3年
- ・優良 山崎 優花 北小2年
- ・優良 横倉 和花 北小3年

### 小学生高学年の部

- ・最優秀 代田 清香 東小6年
- ・優秀 三井 知世 南小6年
- ・優良 和泉 舞 東小5年
- ・優良 川島 沙織 西小6年

### 中学生の部

- ・最優秀 菅田 真由 西中1年
- ・優秀 風張 未歩 南中1年
- ・優良 和泉 玲花 北中1年
- ・優良 日下部花香 北中2年

小・中学生が、家庭や学校、社会生活のなかで社会福祉の現状や将来の夢などについて考えたり共感したりと、児童及び生徒の社会福祉に対する一層の理解と関心を高めるきっかけになればという思いを込めて、第11回ふくし作文・ポスターコンクールを開催いたしました。町内小学校4校・中学校3校から合計で486点の応募がありました。大変ありがとうございました。

なお、入賞者につきましては次のとおりです。

## 大泉町

# 保健福祉まつり

11月19日(土)、20日(日)文化むらにて大泉町保健福祉まつりが開催されました。20日には福祉団体やボランティア団体が参加し、毎年恒例の模擬店を屋外で行いました。また、ぐんまちゃんと一緒に街頭募金を行いました。

たくさんの方々にご協力いただき無事実施することができました。ありがとうございました。



手話ダンスの様子



模擬店の様子



ぐんまちゃんと街頭募金の様子

最優秀

小学生低学年

作文の部

## ふくくじじい



北小学校2年  
はぎもと ゆ あ 萩本 由愛

わたしのおかあさんは、ふくしにかかわるしごとをしています。そのなかでも、おかあさんのしごとはおうちにいる、おとしよりをたすけるしごとをしています。

ごはんをつくったり、おそうじをしたり、トイレのおてつだいをしたり、お風呂にはいるおてつだいなどをやるそうです。たくさんのおてつだいをするので、たくさんの方がよろこんでくれると、おかあさんもとてもうれしいとよろこんでおしごとをしています。そんなおかあさんのすがたをみて、わたしも人のやくにたてることをたくさんしたいとおもいました。そして、おかあさんはすごいなと思いました。

おかあさんがいつもはなしてくる人がいます。その人は、足がびょうきであるけなくなってしまう、びょうきのせいでてもおもうようにちからが

入らないとおかあさんははなしていません。わたしは、その人に元気になってもらいたくて、手紙を書いておかあさんにわたしてもらいました。

すると、びょうきでてがわるいのになわたしのためにへんじをかいてくれました。その人は、わたしの手紙をすくよろこんでくれて、

「すくへんじをかいてたよ。」

とおかあさんはいっていました。わたしの手紙をよろこんでくれてすくよろれしかったし、その人がとてもよろこんでくれたとおかあさんからきいたときも、うれしくて元気になってもらえたかなとおもいました。わたしは、その手紙を今でもだいじにしています。だからものです。

おかあさんがふくしとは、「しあわせ」、「こうふく」とはなしてくれませんが、それをきいてわたしも一つ人によろこんでもらえてしあわせにすることができたとおもえました。おかあさんは、たくさんの人にしあわせになってもらいたい、よろこんでもらえることで、じぶんまでうれしい、しあわせな気持ちになるとはなしていません。わたしもおかあさんと同じ気持ちになりました。

これからもっとおかあさんのしごにきょうみをもって、ちいさなことからじぶんのできることをしていきたいと思えます。



最優秀

小学生高学年

作文の部

## ちよつこの段差



西小学校5年  
たかぎ り のん 高木 璃音

私は夏休みに旅行に行けずつまらない毎日をすごしていました。母は毎日仕事だし、休日は私や兄のサッカーがあるためで旅行に行く事は今年はおむりだねと言われていました。でも私は母に、

「どこか行きたい。連れてって。」とサッカーがお休みになった日に言いました。そうしたら難しい顔をしていた母が、

「わかった。いいよ、行こう。」と言ってくれ、車に乗りこみました。私、

「どこに行くの？」

と聞くと、母は、

「ママのお友達の家。」と言ったきりくわしく教えてくれませんでした。私は、遊園地とかショッピングセンターで買い物したかったのに・・・と思わずと下を向いています。

車がとう着したのは母が前にはたらいっていた施設でした。私が小さかった時より建物も新しくなりきれいになっていました。玄関の段差もなく、病院の玄関みたいでした。その施設で私は車イスに乗らせてもらいました。施設の中はバリアフリーといって段差のないろうかだったので、自分でこく車イスはとてもスムーズに動き楽しかったです。でも、他の利用者さんたちと外にさん歩に出た時、私も車イスに乗ったままだったのですが、急にこわくなりました。

車イスで段差を上がる時、前のタイヤを少し持ち上げるのですが、後ろにひっくりかえりそうに感じました。私は「うわあ。」と声が出てしまいました。段差を上がる時に母が、

「車イスかたむくよ。」

と言ったけど、あんなにこわいとは思いませんでした。自分の足で歩いていた時は気にならなかった段差。自転車であっていた時はガタゴトなるのが楽しかった段差。車イスに乗った時にこわいと思った段差。どれも同じ段差なのにいろいろな感じ方があるんだなあと思いました。

私たちのまわりには、体が思うように動かせない人、上手にしゃべれない人、ケガをしている人、お年寄り、ねたきりの人等、いろいろな人たちが生活しています。このいろいろな人たちが集まって社会ができてくるんだと母が教えてくれました。

この車イスに乗るといいう体験で、

立っている人より見える物がずっと低いというのを知ったし、話をすると、みんなしゃがんで話をしてくれ、ちょっと急な坂道の際は車イスを後ろ向きにして進むというのを知りました。ちょっとした段差をこえるのも、後ろ向きに進むのも少しこわかったけど安全のために必要なだと分かりました。

私が車イスに乗ってみて、今までは感じなかった暮らしにくさと優しさがある事に気づきました。この気づいた事を大切に、自分のできる事から始めようと思います。そしてだれでも安心して生活できる社会にしたいと思えます。

私は車に乗った時、母が「ママの友達の家」と言った時、「行きたくない。」と言わなくて良かったと思います。なぜかと言うとそれが私の知らなかった社会や優しさを教えてくれた、その優しさを広げようとする一歩になったからです。

お母さん、連れてってくれてありがとう。



最優秀

中学生

作文の部

## 現代社会とふくし



北中学校2年生  
のぞみ  
近藤 希

私は、「福祉ってなんだろう。」と疑問に思い調べることになった。福祉とは、すべての人が不自由のない幸福な生活が送れるようにするための仕組みや働きのことだ。ボランティア活動や介護サービス、バリアフリーなどもその一つだ。社会の発展で機械化が進み、暮らしやすくなったと思う。しかし、高齢者や体の不自由な人には、良い点もあるが、悪い点もあると思う。

良い点は、医療器具や介護用品の発達により高齢者や体の不自由な人を助けるための新たな医療器具が次々と開発され、生活の不便が徐々に解消されていることだ。私の祖母は、足が悪く二つの介護器具を使用する。一つ目は、押し車だ。祖母は、自分の力では歩くことができない。しかし、押し車があると足にかかる負担が減るため、歩くことができるので、押し車を使う前よりも外出が増えた。二つ目は、車いす

だ。遠くへ出かけた時、押し車で歩いてると、いつも祖母は、「足が痛く。」

と、言う。祖母は、喘息を持っているため、長時間歩いていると、発症してしまう。そんな時に使用している。普段は、あまり話をしていないが、車いすを押ししている時は、祖母と楽しく話ができる良い機会にもなる。以前、祖母は、私に生活で大変なことやもっとこうしてほしいことを話してくれた。それを聞いて私は、「もっと祖母のためにできることがないかな」と考えた。それから、私は祖母のお手伝いをするようになった。お手伝いが終わると祖母は笑顔で、「いつもありがとうね。」

と、言うので、とてもうれしい。普段はあまり話せなかったが、最近は、よく話すようになった。祖母と会話をするのは楽しい。車いすは、不自由な人を助けるだけでなく、祖母との会話のきっかけとなり、祖母と楽しく会話ができるようになった介護器具だと思う。この二つの介護器具は、祖母の生活にかかせない必需品となっている。他にも、高齢者や体の不自由な人のための医療器具や介護用品が開発され、生活に役立っている。

悪い点は、機械化が進み、高齢者や脳に障害がある人が機械の使い方がわからないという点だ。このようなことを感じられる出来事が二度あった。一度目は、祖母が、新しく買った洗濯機の使い方がわからなくて困っていたこ

とだ。使い方を教えてあげたあと、祖母はこう言った。

「最近、何でも機械になって、使い方がわからないから不便だよ。」この言葉を聞いて私は、「私たちには便利でも、高齢の方には、不便なこともあるんだな。」と思ったことがあったからだ。二つ目は、今年七月、部活の仲間と電車で県大会を見に行った帰り、目の不自由な人がいた。その人は改札口に行きたいそうなので、案内をした。「もう大丈夫かな。」と思い、帰ろうとした時、その人は、切符をどこに入れるのか分からず、困っていた。私たちが、切符を入れる場所を教えるとその人は、

「ありがとう。改札機はどこに入れていいかわからなかったよ。」と、祖母と同じようなことを言っていた。

高齢者や体の不自由な方は、生活に便利になった機械もあるが、不便である。この点が現代社会の大きな課題だと思う。少子高齢化で高齢者の割合が増加し、介護をする人も減少している。だから、もっとふくしに興味、関心を持っていくと私は、思う。そうしたら、もっと高齢者や体の不自由な人が住みやすい暮らしができると思う。私もこれからの介護体験などの活動を積極的に取り組んでいきたい。





## 「ひだまり」のお知らせ

オレンジ  
カフェとは…

認知症の方や家族、地域の方がお茶を飲みながら日頃の思いや悩みを伝え合い、気持ちのリフレッシュと地域や仲間との繋がりを感じてもらうための場所です。ぜひお気軽に参加ください！



第1回オレンジカフェの様子

※詳しくは地域包括支援センターまで (Tel.63-2294)

日 12月22日 木

時 午前1時30分～3時(時間内出入り自由)

- ▶ 場 所 文化むら 展示ホール棟 第1・2研修室
- ▶ 主 催 大泉町・地域包括支援センター
- ▶ 内 容 お茶を飲みながら参加者同士で自由にお話していただけます。お楽しみのレクリエーションコーナーも設けております。
- ▶ 対 象 町内在住で、介護を受けている方やその家族、認知症について知りたい方、オレンジカフェで交流をしたい方。
- ▶ 参加費 100円
- ▶ 申 込 地域包括支援センターへ直接または電話で申込む (申込みなしでの参加も可能です。)



## テーブルマナー体験講座のお知らせ



発達がゆっくりな方や身体にハンディをお持ちの方とその家族を対象にテーブルマナーの体験講座を開催します。年齢は問いません。ぜひ気軽にご参加ください。

日 平成29年 1月28日 土

時 午前11時～午後1時

- ▶ 場 所 ラ・テラス・クレオール(太田市飯塚町706-3 Tel.46-9999)
- ▶ 講 師 関根孝夫氏(同店オーナーシェフ)
- ▶ 定 員 30名(先着順)
- ▶ 参加費 2,000円(昼食代)
- ▶ 申 込 1月12日(木)までに社協へ直接または電話で申込む

※当日は現地集合・現地解散となります。※詳しくは社協まで(Tel.63-2294)

## 手作りお菓子

## 販売のお知らせ

地域活動支援センターで手作りされたクッキーなどのお菓子を販売します。

- ▶ 日 時 平成29年1月10日(火) 午後1時10分～
- ▶ 場 所 大泉町保健福祉総合センター(社会福祉協議会事務所前)

※売り切れ次第終了となりますので、お早めにお買い求めください!!  
※値段はすべて1袋100円です。

また、毎週木曜日に地域活動支援センターで手作りお菓子の販売もしています。ぜひお越しください。

## お楽しみ会が開催されました

老人福祉センターで10月22日(土)にお楽しみ会が開催されました。カラオケや舞踊、よさこい、ハーモニカなどのクラブ活動者による発表が行われ、約120名の方が観覧しました。



## お問合せ先

大泉町社会福祉協議会  
大泉町吉田2465

TEL : 63-2294

ホームページ

<http://www.oizumishakyo.or.jp/>

## ご好意ありがとうございます。(順不同)

- 齋藤勝美 様 50,000円
- 對比地幸孝 様 10,000円
- 大泉町陶芸協議会 様 20,000円
- 両毛ヤクルト販売(株)代表取締役社長  
相馬稔 様 30,000円

